

1 提案者 高野 努（浅間中）

2 提案内容

- (1) 単元名「日本の高度経済成長」
- (2) 利用した番組名「10 min.ボックス日本史 高度経済成長の光と影」
- (3) 授業のねらい

日本の経済が急成長した 1960 年代の高度経済成長について、タブレット端末を用いて NHK for school の番組を自分の意思で視聴し、自分が調べた生活の変化の光と影を仲間と確かめ合うことを通して、高度経済成長をより身近なものとして理解することができる。

(4) 授業の実践記録

	学習活動	生徒のようす	指導・助言	備考
導入	人物とその作品の写真を 見る。	・誰だろう？ ・迫力ある人だな。	・芸術家の岡本太郎でこ とを伝え、代表作を問う。	写真「岡本太郎」
	大阪万博の概要を知る。	・「太陽の塔」だ。	・太陽の塔は 1970 年に開催 された大阪万博のシンボ ル。	写真「太陽の塔」
	高度経済成長の時期を 知る。	・参加国は 77 で入場者は 6400 万人以上なんて、大 きな催しだったんだ。	・「もはや戦後ではない」と 言われ、年 10% ずつ経済が 急成長したことを伝える。	
展開	学習問題：高度経済成長で何がおき、生活はどう変化したか。			
	学習課題：高度経済成長の光と影に着目し、Chromebook で調べよう。			
	【光】 ・生活水準が向上した。 ・耐久消費財の普及が加速していった。 自動車普及。スーパーマーケット広がる。 ・池田勇人内閣の所得倍増政策。 →収入が増えた人々は、家電を購入。 三種の神器・・・白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫 ・農村から集団就職→大きな労働力（金の卵） ・東京オリンピックなどで雇用が生まれた。 ・新幹線や高速道路が開通した。 ・製造業やサービス業など、都市で収入のい い仕事をする人が増え、国民所得も増えた。	・自分のタイミングで NHK for school の番組を視聴す ることを伝える。	・Chromebook	【影】 ・急速な工業化で公害が発生した。 ・・・水俣病、新潟水俣病、四日市ぜんそく、 イタイイタイ病。 大気汚染、水質汚濁などで健康被害が深刻。 ・大都市で人口が集中し、住宅難、交通難、 騒音などが発生。 ・農村では人口が減少し、過疎化が進んだ。

／ 終末	・調べた内容を周りの友人と確かめ合う。 ・振り返りを記入する。	・高度経済成長の光と影の部分に分けて調べてあって参考になった。 ・「三ちゃん農業」なんて言葉があったことを知った。 ・高度経済成長は、石油危機が起きて終えることになったんだ。 ・高度経済成長は、オリンピックや大阪万博などで日本がにぎわって、雇用も増えて、その結果人々の所得が増えた。三種の神器など身の回りの生活が豊かになっていった。その反面で、環境が破壊され公害で苦しむ人々が出てしまったり、過密や過疎の問題が起きたりして、問題も起きたことがわかった。	・周りの友人と調べた内容を確認め合い、「○○さんから学んだこと」を記入するよう指示する。 ・友人から学んだことも参考にして、本時の学習の振り返りを記入するよう指示する。	・学習カード
--------------------	--	---	---	--

【協働的な学びの場面】



(5) 考察

導入から学習問題の設定は教師が行った。生徒が学習問題を設定するには、本時のみではなく単元を通して、あるいはさらに長い時数をかけて授業を練っていく必要があると考える。また、学習問題を教師が設定するには、従来のように生徒が追求（探究）意欲をもつことができるようにする必要があると考え。展開では、個別最適な学びができるように Chromebook を用いて、高度経済成長の光と影を各自で調べ、学習カードに記入した。その際、NHK for school の番組をクラスルームに予めあげておき、自分が調べやすいタイミングで視聴し、参考にするよう指示をした。生徒は、教科書や資料集も参考にしながら Chromebook で調べたことを学習カードに記入していた。調べたことを確認するために NHK for school の番組を視聴する生徒が多かった。ただし、追究（探究）の時間を 20 分間ほど確保したため、この間の教師の指導・助言をきめ細かく考える必要があると感じられた。個別に調べたことは、周りの友人と確かめ合うことで、協働的な学びができる場面を設けたが、学びが深まる工夫をさらに考えたい。

(6) 番組への要望

- ・10 分間という授業で扱いやすい番組であり、要点を捉えていて生徒の理解がしやすい構成になっているので、今後も新しい番組を制作し続けて欲しい。